

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）

為替ヘッジなしコース
日本円コース
ブラジル・リアル・コース
通貨セレクト・コース

運用報告書（全体版）

第47期（決算日 2019年3月18日）
第48期（決算日 2019年4月18日）
第49期（決算日 2019年5月20日）
第50期（決算日 2019年6月18日）
第51期（決算日 2019年7月18日）
第52期（決算日 2019年8月19日）

（作成対象期間 2019年2月19日～2019年8月19日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界各国の高配当株式や債券など、さまざまな資産に投資を行ない、機動的に配分比率を調整することで、安定した利回りを追求するとともに、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5655>
<5656>
<5657>
<5658>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	5年間（2015年2月19日～2020年2月18日）
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド（※1）」（以下「インカム・アロケーション・ファンド（※1）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券 （※1）は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。 「為替ヘッジなしコース」の場合 ……ヘッジなし・クラス 「日本円コース」の場合 ……円ヘッジ・クラス 「ブラジル・リアル・コース」の場合 ……ブラジル・リアル・クラス 「通貨セレクト・コース」の場合 ……通貨セレクト・クラス
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

為替ヘッジなしコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	額		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産額
		税込み 分配金	期騰落 中率			
	円	円	%	%	%	百万円
23期末(2017年3月21日)	9,059	25	0.1	0.0	98.1	2,499
24期末(2017年4月18日)	8,737	25	△ 3.3	0.1	98.8	2,162
25期末(2017年5月18日)	9,013	25	3.4	0.0	98.9	2,126
26期末(2017年6月19日)	9,018	25	0.3	0.0	98.9	2,135
27期末(2017年7月18日)	9,226	25	2.6	—	99.2	2,065
28期末(2017年8月18日)	8,930	25	△ 2.9	—	98.5	1,960
29期末(2017年9月19日)	9,098	25	2.2	—	99.5	1,966
30期末(2017年10月18日)	9,227	25	1.7	—	98.9	1,904
31期末(2017年11月20日)	9,189	25	△ 0.1	—	97.9	1,856
32期末(2017年12月18日)	9,253	25	1.0	—	99.2	1,771
33期末(2018年1月18日)	9,146	25	△ 0.9	—	99.0	1,640
34期末(2018年2月19日)	8,578	25	△ 5.9	—	99.4	1,538
35期末(2018年3月19日)	8,548	25	△ 0.1	—	99.0	1,524
36期末(2018年4月18日)	8,621	25	1.1	—	99.2	1,520
37期末(2018年5月18日)	8,846	25	2.9	—	99.0	1,529
38期末(2018年6月18日)	8,842	25	0.2	—	99.1	1,431
39期末(2018年7月18日)	8,987	25	1.9	—	96.3	1,386
40期末(2018年8月20日)	8,845	25	△ 1.3	—	99.0	1,323
41期末(2018年9月18日)	8,947	25	1.4	—	98.5	1,310
42期末(2018年10月18日)	8,811	25	△ 1.2	—	96.4	1,271
43期末(2018年11月19日)	8,784	25	△ 0.0	—	98.9	1,230
44期末(2018年12月18日)	8,600	25	△ 1.8	—	99.4	1,192
45期末(2019年1月18日)	8,443	25	△ 1.5	—	98.9	1,140
46期末(2019年2月18日)	8,714	25	3.5	—	98.7	1,143
47期末(2019年3月18日)	8,859	25	2.0	—	99.3	1,159
48期末(2019年4月18日)	8,945	25	1.3	—	98.8	1,150
49期末(2019年5月20日)	8,708	25	△ 2.4	—	99.0	1,072
50期末(2019年6月18日)	8,633	25	△ 0.6	—	99.4	1,022
51期末(2019年7月18日)	8,652	25	0.5	—	99.1	1,001
52期末(2019年8月19日)	8,434	25	△ 2.2	—	99.1	970

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

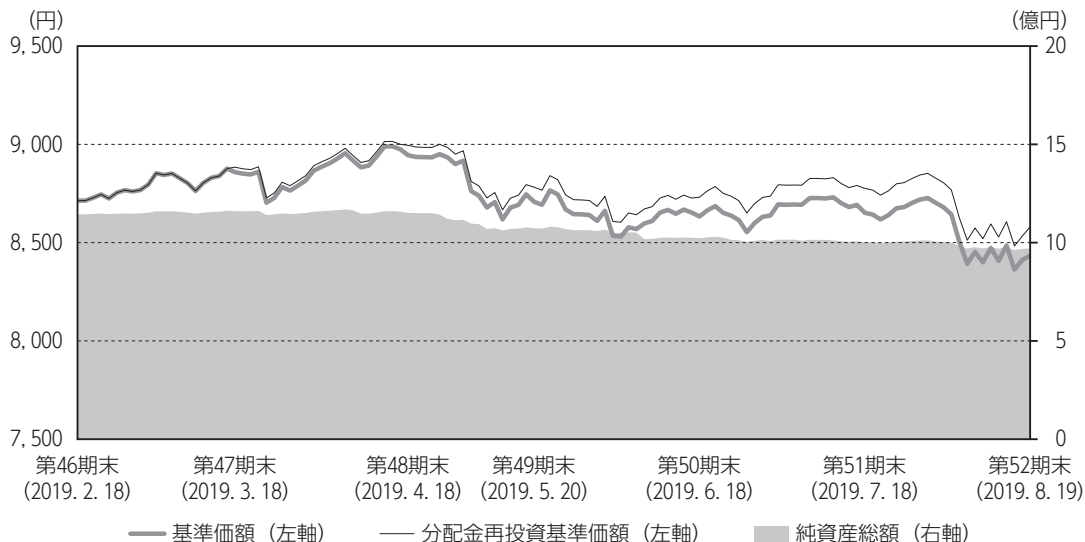
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第47期首：8,714円

第52期末：8,434円（既払分配金150円）

騰落率：△1.5%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）で保有している株式や不動産担保証券の上昇などはプラス要因となりましたが、米ドルが対円で下落（円高）したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型） 為替ヘッジなしコース

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %		
第47期	(期首)2019年 2月18日	8,714	—	—	98.7
	2月末	8,768	0.6	—	98.9
	(期末)2019年 3月18日	8,884	2.0	—	99.3
第48期	(期首)2019年 3月18日	8,859	—	—	99.3
	3月末	8,790	△ 0.8	—	98.8
	(期末)2019年 4月18日	8,970	1.3	—	98.8
第49期	(期首)2019年 4月18日	8,945	—	—	98.8
	4月末	8,900	△ 0.5	—	98.9
	(期末)2019年 5月20日	8,733	△ 2.4	—	99.0
第50期	(期首)2019年 5月20日	8,708	—	—	99.0
	5月末	8,662	△ 0.5	—	99.2
	(期末)2019年 6月18日	8,658	△ 0.6	—	99.4
第51期	(期首)2019年 6月18日	8,633	—	—	99.4
	6月末	8,631	△ 0.0	—	98.4
	(期末)2019年 7月18日	8,677	0.5	—	99.1
第52期	(期首)2019年 7月18日	8,652	—	—	99.1
	7月末	8,703	0.6	—	99.3
	(期末)2019年 8月19日	8,459	△ 2.2	—	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 2. 19 ~ 2019. 8. 19)

海外金融市況

海外金融市場では、株式市場および債券市場ともにおおむね堅調に推移しました。

株式市場では、当作成期首より、FOMC（米国連邦公開市場委員会）における利上げ休止などを好感し、上昇基調で推移しました。しかし2019年5月以降は、米中貿易摩擦への懸念が高まったことなどから下落しました。その後、各国の中央銀行が金融緩和に前向きな姿勢を示したことなどから再び上昇しましたが、8月に入ると、トランプ米国大統領が中国製品に対する追加関税を発表したことなどから市場のリスク回避姿勢が強まり、下落しました。当作成期末にかけては、米中通商協議に関する両国の動向に一喜一憂するなどして、値動きの荒い展開となりました。

債券市場では、当作成期首より、FOMCにおける利上げ休止などを受けて、金利は低下基調で推移しました。2019年5月以降は、米中貿易摩擦への懸念が高まったことや各国の中央銀行が金融緩和に前向きな姿勢を示したことなどから、金利の低下が続きました。

非伝統的高利回り資産（※）では、優先証券が相対的に良好なパフォーマンスでした。

※リート、優先証券、不動産担保証券など。

為替相場

米ドルは対円で下落しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、おおむね横ばいで推移しました。2019年5月以降は、米中貿易摩擦への懸念が高まったことや各国の中央銀行が金融緩和に前向きな姿勢を示したことなどから下落しました。8月に入ると、トランプ米国大統領が中国製品に対する追加関税を発表したことなどから市場のリスク回避姿勢が強まり、一段と下落しました。当作成期末にかけては、一進一退で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、優先証券やハイ・イールド債券などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。リスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインの獲得もめざした運用を行います。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 2. 19 ~ 2019. 8. 19)

■当ファンド

当ファンドは、インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界各国のさまざまな資産に投資を行い、機動的に各資産の配分比率を調整することで、安定した利回りと信託財産の着実な成長をめざしてポートフォリオを構築しました。

株式については、米国株式市場が底堅く推移する中、引き続き米国株式を選好しました。一方、ユーロ圏経済の減速懸念などから、ドイツの株式組入比率を引き下げました。

債券については、クレジット商品の幅広い資産クラスおよびセクターに分散投資を意識した運用を行いました。投資適格債および国債を買い増した一方、2019年5月に株式市場が下落したことなどから、ハイ・イールド債券のポジションを縮小しました。

利回りの獲得や分散投資の観点から魅力的な資産と考えている非伝統的高利回り資産では、不動産担保証券や優先証券などに投資しました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	2019年2月19日 ～2019年3月18日	2019年3月19日 ～2019年4月18日	2019年4月19日 ～2019年5月20日	2019年5月21日 ～2019年6月18日	2019年6月19日 ～2019年7月18日	2019年7月19日 ～2019年8月19日
当期分配金(税込み) (円)	25	25	25	25	25	25
対基準価額比率 (%)	0.28	0.28	0.29	0.29	0.29	0.30
当期の収益 (円)	25	25	23	22	24	21
当期の収益以外 (円)	—	—	1	2	0	3
翌期繰越分配対象額 (円)	610	614	612	609	609	606

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 30.21円	✓ 29.27円	✓ 23.17円	✓ 22.40円	✓ 24.82円	✓ 21.57円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	90.49	90.91	91.28	91.72	92.17	92.60
(d) 分配準備積立金	514.30	519.09	✓ 522.99	✓ 520.73	✓ 517.69	✓ 517.09
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	635.01	639.28	637.45	634.86	634.69	631.27
(f) 分配金	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	610.01	614.28	612.45	609.86	609.69	606.27

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、優先証券やハイ・イールド債券などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。リスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインの獲得もめざした運用を行います。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第47期～第52期 (2019. 2. 19～2019. 8. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	53円	0.603%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,723円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.188)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(35)	(0.403)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	53	0.607	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

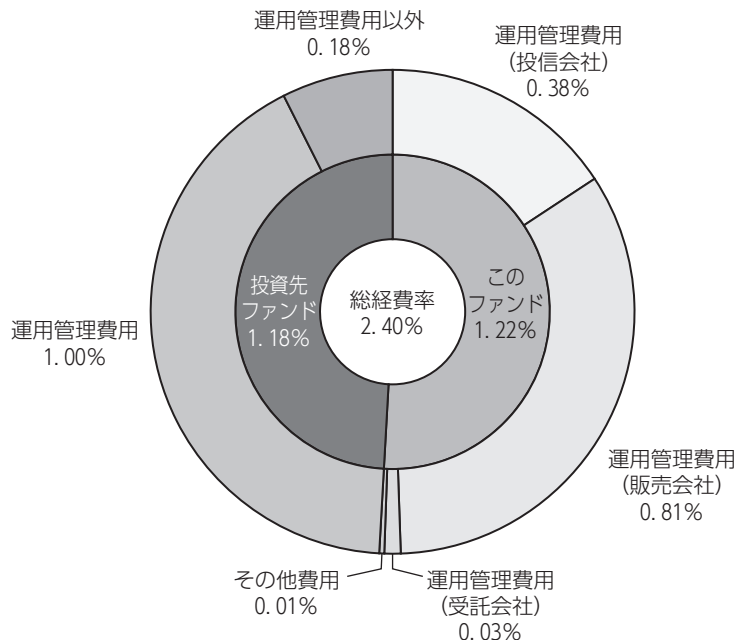
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.40%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.40%
①このファンドの費用の比率	1.22%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.18%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況 投資信託受益証券

(2019年2月19日から2019年8月19日まで)

決算期	第 47 期 ~ 第 52 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	275.73175	23,171	1,898.33678	160,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

(2019年2月19日から2019年8月19日まで)

第 47 期 ~				第 52 期			
買 付				売 付			
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND NON- HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	1,898.33678	160,000	84

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2019年2月19日から2019年8月19日まで)

区 分	第 47 期			第 52 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	40	40	100.0	—	—	—
コール・ローン	856,850	—	—	—	—	—

平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 52 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND NON- HEDGED CLASS	11, 770. 45589	961, 552	99. 1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年8月19日現在

項 目	第 52 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	961, 552	98. 5
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド	1, 489	0. 2
コール・ローン等、その他	13, 415	1. 3
投資信託財産総額	976, 457	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第46期末	第 52 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド	1, 490	1, 490	1, 489

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年3月18日)、(2019年4月18日)、(2019年5月20日)、(2019年6月18日)、(2019年7月18日)、(2019年8月19日)現在

項 目	第47期末	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末
(A) 資産	1, 164, 327, 737円	1, 168, 377, 690円	1, 077, 529, 790円	1, 026, 375, 572円	1, 005, 984, 623円	976, 457, 697円
コール・ローン等	10, 826, 085	9, 359, 194	13, 841, 619	8, 218, 111	11, 626, 911	13, 415, 845
投資信託受益証券 (評価額)	1, 152, 011, 286	1, 137, 528, 279	1, 062, 198, 103	1, 016, 667, 542	992, 867, 793	961, 552, 082
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド (評価額)	1, 490, 366	1, 490, 217	1, 490, 068	1, 489, 919	1, 489, 919	1, 489, 770
未収入金	—	20, 000, 000	—	—	—	—
(B) 負債	4, 354, 529	17, 483, 981	4, 569, 031	3, 999, 848	4, 094, 581	5, 858, 147
未払金	—	10, 000, 000	—	—	—	—
未払収益分配金	3, 273, 435	3, 216, 664	3, 080, 426	2, 960, 591	2, 894, 898	2, 877, 197
未払解約金	—	3, 062, 558	288, 229	—	153, 636	1, 885, 424
未払信託報酬	1, 073, 953	1, 189, 614	1, 176, 739	1, 009, 659	1, 009, 601	1, 052, 209
その他未払費用	7, 141	15, 145	23, 637	29, 598	36, 446	43, 317
(C) 純資産総額 (A - B)	1, 159, 973, 208	1, 150, 893, 709	1, 072, 960, 759	1, 022, 375, 724	1, 001, 890, 042	970, 599, 550
元本	1, 309, 374, 148	1, 286, 665, 624	1, 232, 170, 628	1, 184, 236, 409	1, 157, 959, 244	1, 150, 878, 925
次期繰越損益金	△ 149, 400, 940	△ 135, 771, 915	△ 159, 209, 869	△ 161, 860, 685	△ 156, 069, 202	△ 180, 279, 375
(D) 受益権総口数	1, 309, 374, 148□	1, 286, 665, 624□	1, 232, 170, 628□	1, 184, 236, 409□	1, 157, 959, 244□	1, 150, 878, 925□
1万口当り基準価額 (C/D)	8, 859円	8, 945円	8, 708円	8, 633円	8, 652円	8, 434円

*第46期末における元本額は1, 312, 021, 664円、当作成期間 (第47期～第52期) 中における追加設定元本額は6, 107, 466円、同解約元本額は167, 250, 205円です。

*第52期末の計算口数当りの純資産額は8, 434円です。

*第52期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は180, 279, 375円です。

■損益の状況

項目	第47期 自 2019年 2月19日 至 2019年 3月18日 第48期 自 2019年 3月19日 至 2019年 4月18日	第48期 自 2019年 4月19日 至 2019年 5月20日 第50期 自 2019年 5月21日 至 2019年 6月18日	第49期 自 2019年 4月19日 至 2019年 5月20日 第51期 自 2019年 6月19日 至 2019年 7月18日	第50期 自 2019年 5月21日 至 2019年 6月18日 第52期 自 2019年 7月19日 至 2019年 8月19日	第51期 自 2019年 6月19日 至 2019年 7月18日	第52期 自 2019年 7月19日 至 2019年 8月19日
(A) 配当等収益	4, 149, 030円	4, 083, 075円	4, 041, 579円	3, 670, 322円	3, 448, 954円	3, 542, 109円
受取配当金	4, 149, 701	4, 083, 826	4, 042, 076	3, 671, 073	3, 449, 490	3, 542, 692
受取利息	—	—	—	1	2	1
支払利息	△ 671	△ 751	△ 497	△ 752	△ 538	△ 584
(B) 有価証券売買損益	19, 177, 743	11, 369, 297	△ 28, 962, 686	△ 8, 537, 827	2, 662, 157	△ 24, 769, 857
売買益	19, 186, 015	11, 546, 562	478, 559	747, 272	2, 741, 670	121, 385
売買損	△ 8, 272	△ 177, 265	△ 29, 441, 245	△ 9, 285, 099	△ 79, 513	△ 24, 891, 242
(C) 信託報酬等	△ 1, 081, 094	△ 1, 197, 684	△ 1, 186, 149	△ 1, 016, 376	△ 1, 016, 449	△ 1, 059, 211
(D) 当期損益金 (A + B + C)	22, 245, 679	14, 254, 688	△ 26, 107, 256	△ 5, 883, 881	5, 094, 662	△ 22, 286, 959
(E) 前期繰越損益金	△ 162, 907, 518	△ 141, 324, 597	△ 124, 679, 682	△ 147, 756, 567	△ 152, 993, 243	△ 149, 747, 792
(F) 追加信託差損益金	△ 5, 465, 666	△ 5, 485, 342	△ 5, 342, 505	△ 5, 259, 646	△ 5, 275, 723	△ 5, 367, 427
(配当等相当額)	(11, 848, 936)	(11, 697, 538)	(11, 248, 124)	(10, 862, 665)	(10, 673, 751)	(10, 657, 669)
(売買損益相当額)	(△ 17, 314, 602)	(△ 17, 182, 880)	(△ 16, 590, 629)	(△ 16, 122, 311)	(△ 15, 949, 474)	(△ 16, 025, 096)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 146, 127, 505	△ 132, 555, 251	△ 156, 129, 443	△ 158, 900, 094	△ 153, 174, 304	△ 177, 402, 178
(H) 収益分配金	△ 3, 273, 435	△ 3, 216, 664	△ 3, 080, 426	△ 2, 960, 591	△ 2, 894, 898	△ 2, 877, 197
次期繰越損益金 (G + H)	△ 149, 400, 940	△ 135, 771, 915	△ 159, 209, 869	△ 161, 860, 685	△ 156, 069, 202	△ 180, 279, 375
追加信託差損益金	△ 5, 465, 666	△ 5, 485, 342	△ 5, 342, 505	△ 5, 259, 646	△ 5, 275, 723	△ 5, 367, 427
(配当等相当額)	(11, 848, 936)	(11, 697, 538)	(11, 248, 124)	(10, 862, 665)	(10, 673, 751)	(10, 657, 669)
(売買損益相当額)	(△ 17, 314, 602)	(△ 17, 182, 880)	(△ 16, 590, 629)	(△ 16, 122, 311)	(△ 15, 949, 474)	(△ 16, 025, 096)
分配準備積立金	68, 024, 307	67, 340, 381	64, 217, 344	61, 360, 231	59, 926, 888	59, 116, 924
繰越損益金	△ 211, 959, 581	△ 197, 626, 954	△ 218, 084, 708	△ 217, 961, 270	△ 210, 720, 367	△ 234, 028, 872

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(a) 経費控除後の配当等収益	3, 956, 627円	3, 766, 554円	2, 855, 387円	2, 653, 851円	2, 875, 182円	2, 482, 800円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	11, 848, 936	11, 697, 538	11, 248, 124	10, 862, 665	10, 673, 751	10, 657, 669
(d) 分配準備積立金	67, 341, 115	66, 790, 491	64, 442, 383	61, 666, 971	59, 946, 604	59, 511, 321
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	83, 146, 678	82, 254, 583	78, 545, 894	75, 183, 487	73, 495, 537	72, 651, 790
(f) 分配金	3, 273, 435	3, 216, 664	3, 080, 426	2, 960, 591	2, 894, 898	2, 877, 197
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	79, 873, 243	79, 037, 919	75, 465, 468	72, 222, 896	70, 600, 639	69, 774, 593
(h) 受益権総口数	1, 309, 374, 148口	1, 286, 665, 624口	1, 232, 170, 628口	1, 184, 236, 409口	1, 157, 959, 244口	1, 150, 878, 925口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	25円	25円	25円	25円	25円	25円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

日本円コース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配 金	騰 落 中 率			
	円	円	%	%	%	百万円
23期末(2017年3月21日)	9,469	25	0.1	0.0	97.4	907
24期末(2017年4月18日)	9,481	25	0.4	0.1	98.8	898
25期末(2017年5月18日)	9,520	25	0.7	0.0	99.0	880
26期末(2017年6月19日)	9,562	25	0.7	0.0	99.2	866
27期末(2017年7月18日)	9,607	25	0.7	—	98.0	867
28期末(2017年8月18日)	9,503	25	△ 0.8	—	97.4	838
29期末(2017年9月19日)	9,570	25	1.0	—	97.9	842
30期末(2017年10月18日)	9,582	25	0.4	—	85.9	802
31期末(2017年11月20日)	9,534	25	△ 0.2	—	98.8	697
32期末(2017年12月18日)	9,563	25	0.6	—	98.2	644
33期末(2018年1月18日)	9,566	25	0.3	—	98.4	625
34期末(2018年2月19日)	9,346	25	△ 2.0	—	98.7	611
35期末(2018年3月19日)	9,302	25	△ 0.2	—	99.1	606
36期末(2018年4月18日)	9,268	25	△ 0.1	—	99.1	595
37期末(2018年5月18日)	9,178	25	△ 0.7	—	98.8	589
38期末(2018年6月18日)	9,186	25	0.4	—	98.9	586
39期末(2018年7月18日)	9,128	15	△ 0.5	—	99.1	572
40期末(2018年8月20日)	9,167	15	0.6	—	97.8	563
41期末(2018年9月18日)	9,134	15	△ 0.2	—	99.0	576
42期末(2018年10月18日)	8,984	15	△ 1.5	—	99.4	473
43期末(2018年11月19日)	8,886	15	△ 0.9	—	94.9	476
44期末(2018年12月18日)	8,680	15	△ 2.1	—	98.5	439
45期末(2019年1月18日)	8,810	15	1.7	—	98.8	445
46期末(2019年2月18日)	8,961	15	1.9	—	99.1	473
47期末(2019年3月18日)	9,017	15	0.8	—	99.1	351
48期末(2019年4月18日)	9,069	5	0.6	—	99.5	362
49期末(2019年5月20日)	8,988	5	△ 0.8	—	98.6	332
50期末(2019年6月18日)	9,015	5	0.4	—	99.4	326
51期末(2019年7月18日)	9,080	5	0.8	—	98.6	346
52期末(2019年8月19日)	8,987	5	△ 1.0	—	99.0	322

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

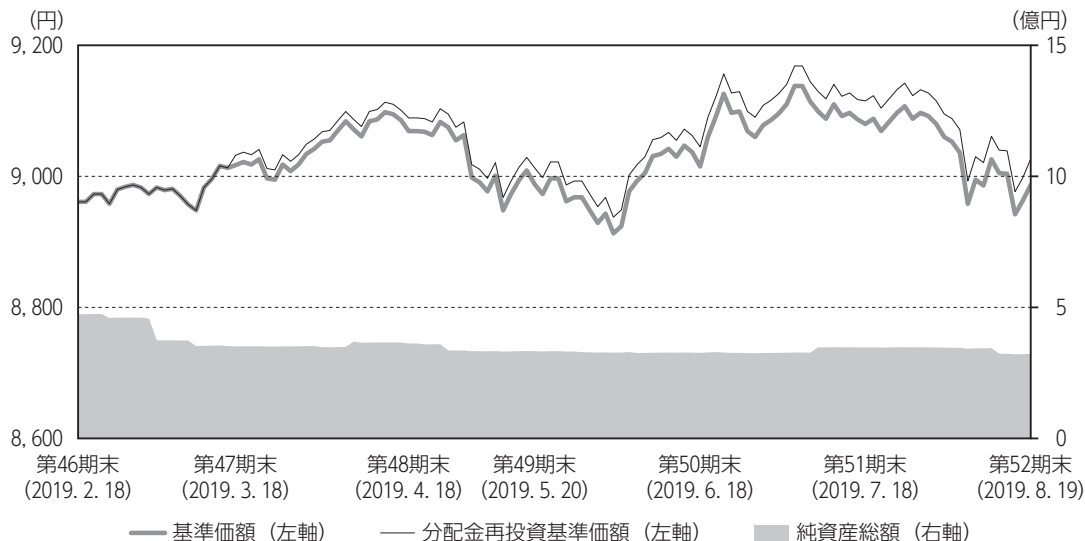
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第47期首：8,961円

第52期末：8,987円（既払分配金40円）

騰落率：0.7%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）で保有している株式や不動産担保証券の上昇などがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。しかし、為替ヘッジコストが発生したことなどが基準価額の上昇を抑制しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト
— マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型） 日本円コース

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %		
第47期	(期首)2019年 2月18日	8,961	—	—	99.1
	2月末	8,983	0.2	—	97.9
	(期末)2019年 3月18日	9,032	0.8	—	99.1
第48期	(期首)2019年 3月18日	9,017	—	—	99.1
	3月末	9,018	0.0	—	99.0
	(期末)2019年 4月18日	9,074	0.6	—	99.5
第49期	(期首)2019年 4月18日	9,069	—	—	99.5
	4月末	9,055	△ 0.2	—	98.5
	(期末)2019年 5月20日	8,993	△ 0.8	—	98.6
第50期	(期首)2019年 5月20日	8,988	—	—	98.6
	5月末	8,943	△ 0.5	—	99.5
	(期末)2019年 6月18日	9,020	0.4	—	99.4
第51期	(期首)2019年 6月18日	9,015	—	—	99.4
	6月末	9,078	0.7	—	98.8
	(期末)2019年 7月18日	9,085	0.8	—	98.6
第52期	(期首)2019年 7月18日	9,080	—	—	98.6
	7月末	9,080	0.0	—	98.7
	(期末)2019年 8月19日	8,992	△ 1.0	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 2. 19 ~ 2019. 8. 19)

■海外金融市況

海外金融市場では、株式市場および債券市場ともにおおむね堅調に推移しました。

株式市場では、当作成期首より、FOMC（米国連邦公開市場委員会）における利上げ休止などを好感し、上昇基調で推移しました。しかし2019年5月以降は、米中貿易摩擦への懸念が高まったことなどから下落しました。その後、各国の中央銀行が金融緩和に前向きな姿勢を示したことなどから再び上昇しましたが、8月に入ると、トランプ米国大統領が中国製品に対する追加関税を発表したことなどから市場のリスク回避姿勢が強まり、下落しました。当作成期末にかけては、米中通商協議に関する両国の動向に一喜一憂するなどして、値動きの荒い展開となりました。

債券市場では、当作成期首より、FOMCにおける利上げ休止などを受けて、金利は低下基調で推移しました。2019年5月以降は、米中貿易摩擦への懸念が高まったことや各国の中央銀行が金融緩和に前向きな姿勢を示したことなどから、金利の低下が続きました。

非伝統的高利回り資産（※）では、優先証券が相対的に良好なパフォーマンスでした。

※リート、優先証券、不動産担保証券など。

■前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、優先証券やハイ・イールド債券などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。引き続きリスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインを求めた運用を行います。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

また、原資産通貨売り／円買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 2. 19 ~ 2019. 8. 19)

■当ファンド

当ファンドは、インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界各国のさまざまな資産に投資を行い、機動的に各資産の配分比率を調整することで、安定した利回りと信託財産の着実な成長をめざしてポートフォリオを構築しました。

株式については、米国株式市場が底堅く推移する中、引き続き米国株式を選好しました。一方、ユーロ圏経済の減速懸念などから、ドイツの株式組入比率を引き下げました。

債券については、クレジット商品の幅広い資産クラスおよびセクターに分散投資を意識した運用を行いました。投資適格債および国債を買い増した一方、2019年5月に株式市場が下落したことなどから、ハイ・イールド債券のポジションを縮小しました。

利回りの獲得や分散投資の観点から魅力的な資産と考えている非伝統的高利回り資産では、不動産担保証券や優先証券などに投資しました。

また、原資産通貨売り／円買いの為替取引を行いました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	2019年2月19日 ～2019年3月18日	2019年3月19日 ～2019年4月18日	2019年4月19日 ～2019年5月20日	2019年5月21日 ～2019年6月18日	2019年6月19日 ～2019年7月18日	2019年7月19日 ～2019年8月19日
当期分配金(税込み) (円)	15	5	5	5	5	5
対基準価額比率 (%)	0.17	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
当期の収益 (円)	12	5	4	5	5	3
当期の収益以外 (円)	2	—	0	—	—	1
翌期繰越分配対象額 (円)	194	200	199	205	210	208

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 12.58円	✓ 11.35円	✓ 4.04円	✓ 10.26円	✓ 9.87円	✓ 3.17円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	134.72	138.58	138.60	138.61	143.09	143.11
(d) 分配準備積立金	✓ 61.78	55.95	✓ 62.29	61.33	62.50	✓ 67.36
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	209.09	205.89	204.94	210.21	215.47	213.65
(f) 分配金	15.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	194.09	200.89	199.94	205.21	210.47	208.65

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、優先証券やハイ・イールド債券などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。リスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインを求めた運用を行います。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

また、原資産通貨売り／円買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第47期～第52期 (2019. 2. 19～2019. 8. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	54円	0.603%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,029円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0.188)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0.403)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	55	0.607	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

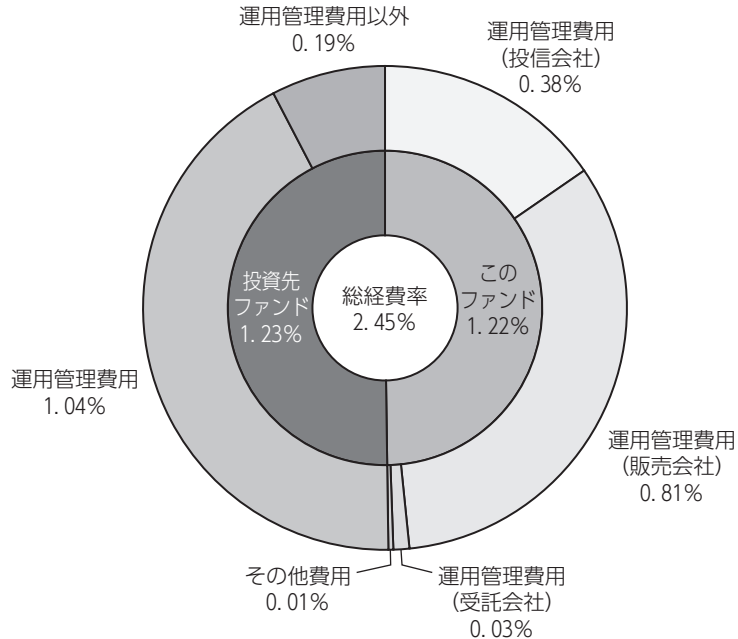
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.45%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.45%
①このファンドの費用の比率	1.22%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.04%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.19%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2019年2月19日から2019年8月19日まで)

決算期	第 47 期 ～ 第 52 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 423.34487	千円 38,036	千口 2,131.24804	千円 190,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2019年2月19日から2019年8月19日まで)

第 47 期 ～ 第 52 期				第 47 期 ～ 第 52 期			
買 付		平均単価		売 付		平均単価	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	千口 389.32365	千円 35,000	円 89	MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	千口 2,131.24804	千円 190,000	円 89

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2019年2月19日から2019年8月19日まで)

区 分	第 47 期			第 52 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 40	百万円 40	100.0	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	856,850	—	—	—	—	—

平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 52 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND JPY HEDGED CLASS	3,583.125	319,252	99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年8月19日現在

項 目	第 52 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	319,252	98.9
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	497	0.2
コール・ローン等、その他	3,169	0.9
投資信託財産総額	322,919	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第46期末	第 52 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	497	497	497

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年3月18日)、(2019年4月18日)、(2019年5月20日)、(2019年6月18日)、(2019年7月18日)、(2019年8月19日)現在

項 目	第47期末	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末
(A) 資産	355,643,018円	365,627,893円	333,201,818円	326,909,470円	347,409,047円	322,919,292円
コール・ローン等	7,390,688	4,808,305	4,809,444	2,057,339	4,746,984	3,169,104
投資信託受益証券 (評価額)	347,754,797	360,322,105	327,894,941	324,354,747	342,164,679	319,252,854
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド (評価額)	497,533	497,483	497,433	497,384	497,384	497,334
(B) 負債	4,568,189	3,513,771	581,439	506,886	534,412	556,252
未払収益分配金	584,031	199,638	185,039	181,040	191,014	179,350
未払解約金	3,596,336	2,943,734	27,540	—	—	—
未払信託報酬	385,266	365,384	360,994	316,382	331,614	362,843
その他未払費用	2,556	5,015	7,866	9,464	11,784	14,059
(C) 純資産総額 (A - B)	351,074,829	362,114,122	332,620,379	326,402,584	346,874,635	322,363,040
元本	389,354,581	399,277,658	370,078,206	362,080,002	382,029,020	358,701,916
次期繰越損益金	△ 38,279,752	△ 37,163,536	△ 37,457,827	△ 35,677,418	△ 35,154,385	△ 36,338,876
(D) 受益権総口数	389,354,581口	399,277,658口	370,078,206口	362,080,002口	382,029,020口	358,701,916口
1万口当り基準価額 (C/D)	9,017円	9,069円	8,988円	9,015円	9,080円	8,987円

*第46期末における元本額は528,578,995円、当作成期間(第47期～第52期)中における追加設定元本額は47,378,159円、同解約元本額は217,255,238円です。

*第52期末の計算口数当りの純資産額は8,987円です。

*第52期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は36,338,876円です。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型） 日本円コース

■損益の状況

第47期 自 2019年 2月19日 至 2019年 3月18日 第49期 自 2019年 4月19日 至 2019年 5月20日 第51期 自 2019年 6月19日 至 2019年 7月18日
 第48期 自 2019年 3月19日 至 2019年 4月18日 第50期 自 2019年 5月21日 至 2019年 6月18日 第52期 自 2019年 7月19日 至 2019年 8月19日

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(A) 配当等収益	559,136円	531,463円	514,271円	474,293円	428,722円	479,183円
受取配当金	559,710	531,841	514,464	474,498	428,918	479,510
受取利息	30	1	—	—	—	—
支払利息	△ 604	△ 379	△ 193	△ 205	△ 196	△ 327
(B) 有価証券売買損益	2,575,886	1,974,850	△ 2,976,859	996,291	2,352,352	△ 3,265,536
売買益	2,757,372	2,030,409	42,738	1,005,926	2,380,886	131,621
売買損	△ 181,486	△ 55,559	△ 3,019,597	△ 9,635	△ 28,534	△ 3,397,157
(C) 信託報酬等	△ 387,822	△ 367,870	△ 364,378	△ 318,478	△ 333,934	△ 365,243
(D) 当期繰越益金 (A + B + C)	2,747,200	2,138,443	△ 2,826,966	1,152,106	2,447,140	△ 3,151,596
(E) 前期繰越損益金	△ 25,170,612	△ 22,236,372	△ 18,809,009	△ 21,344,522	△ 20,175,260	△ 16,821,433
(F) 追加信託差損益金	△ 15,272,309	△ 16,865,969	△ 15,636,813	△ 15,303,962	△ 17,235,251	△ 16,186,497
(配当等相当額)	(5,245,654)	(5,533,471)	(5,129,314)	(5,018,972)	(5,466,811)	(5,133,525)
(売買損益相当額)	(△ 20,517,963)	(△ 22,399,440)	(△ 20,766,127)	(△ 20,322,934)	(△ 22,702,062)	(△ 21,320,022)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 37,695,721	△ 36,963,898	△ 37,272,788	△ 35,496,378	△ 34,963,371	△ 36,159,526
(H) 収益分配金	△ 584,031	△ 199,638	△ 185,039	△ 181,040	△ 191,014	△ 179,350
次期繰越損益金 (G + H)	△ 38,279,752	△ 37,163,536	△ 37,457,827	△ 35,677,418	△ 35,154,385	△ 36,338,876
追加信託差損益金	△ 15,272,309	△ 16,865,969	△ 15,636,813	△ 15,303,962	△ 17,235,251	△ 16,186,497
(配当等相当額)	(5,245,654)	(5,533,471)	(5,129,314)	(5,018,972)	(5,466,811)	(5,133,525)
(売買損益相当額)	(△ 20,517,963)	(△ 22,399,440)	(△ 20,766,127)	(△ 20,322,934)	(△ 22,702,062)	(△ 21,320,022)
分配準備積立金	2,311,660	2,487,994	2,270,374	2,411,311	2,574,075	2,350,951
繰越損益金	△ 25,319,103	△ 22,785,561	△ 24,091,388	△ 22,784,767	△ 20,493,209	△ 22,503,330

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(a) 経費控除後の配当等収益	489,967円	453,445円	149,881円	371,554円	377,235円	113,910円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	5,245,654	5,533,471	5,129,314	5,018,972	5,466,811	5,133,525
(d) 分配準備積立金	2,405,724	2,234,187	2,305,532	2,220,797	2,387,854	2,416,391
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	8,141,345	8,221,103	7,584,727	7,611,323	8,231,900	7,663,826
(f) 分配金	584,031	199,638	185,039	181,040	191,014	179,350
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	7,557,314	8,021,465	7,399,688	7,430,283	8,040,886	7,484,476
(h) 受益権総口数	389,354,581口	399,277,658口	370,078,206口	362,080,002口	382,029,020口	358,701,916口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	15円	5円	5円	5円	5円	5円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ブラジル・リアル・コース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	額		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産額
		税込 分配金	騰落 中率			
	円	円	%	%	%	百万円
23期末(2017年3月21日)	8,283	100	0.4	0.0	98.4	2,235
24期末(2017年4月18日)	7,978	100	△ 2.5	0.1	98.1	1,812
25期末(2017年5月18日)	8,207	100	4.1	0.0	97.9	1,862
26期末(2017年6月19日)	7,750	100	△ 4.3	0.0	98.3	1,692
27期末(2017年7月18日)	8,118	100	6.0	—	99.3	1,781
28期末(2017年8月18日)	7,880	100	△ 1.7	—	94.6	1,598
29期末(2017年9月19日)	8,075	100	3.7	—	98.5	1,531
30期末(2017年10月18日)	8,013	100	0.5	—	99.1	1,524
31期末(2017年11月20日)	7,700	100	△ 2.7	—	98.6	1,435
32期末(2017年12月18日)	7,597	100	△ 0.0	—	99.2	1,382
33期末(2018年1月18日)	7,674	70	1.9	—	97.4	1,386
34期末(2018年2月19日)	7,176	70	△ 5.6	—	99.2	1,250
35期末(2018年3月19日)	6,988	70	△ 1.6	—	99.2	1,200
36期末(2018年4月18日)	6,789	70	△ 1.8	—	99.2	1,149
37期末(2018年5月18日)	6,389	70	△ 4.9	—	98.8	1,055
38期末(2018年6月18日)	6,170	70	△ 2.3	—	98.9	1,000
39期末(2018年7月18日)	6,151	45	0.4	—	95.6	988
40期末(2018年8月20日)	5,914	45	△ 3.1	—	98.2	907
41期末(2018年9月18日)	5,617	45	△ 4.3	—	98.3	807
42期末(2018年10月18日)	6,252	45	12.1	—	96.7	913
43期末(2018年11月19日)	6,139	45	△ 1.1	—	98.7	789
44期末(2018年12月18日)	5,769	30	△ 5.5	—	95.5	742
45期末(2019年1月18日)	5,874	30	2.3	—	99.1	724
46期末(2019年2月18日)	6,138	30	5.0	—	98.9	721
47期末(2019年3月18日)	6,078	30	△ 0.5	—	99.2	706
48期末(2019年4月18日)	5,956	30	△ 1.5	—	98.8	659
49期末(2019年5月20日)	5,579	30	△ 5.8	—	98.6	631
50期末(2019年6月18日)	5,797	30	4.4	—	99.4	625
51期末(2019年7月18日)	6,006	30	4.1	—	97.9	620
52期末(2019年8月19日)	5,517	30	△ 7.6	—	98.6	588

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

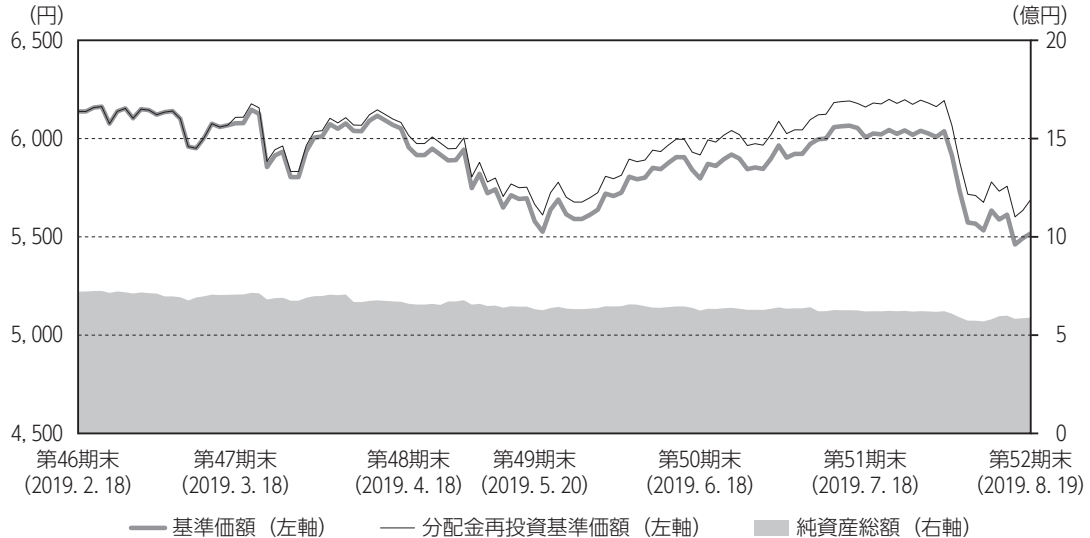
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第47期首：6,138円

第52期末：5,517円（既払分配金180円）

騰落率：△7.3%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）で保有している株式や不動産担保証券の上昇などはプラス要因となりましたが、ブラジル・リアルが対円で下落（円高）したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型） ブラジル・リアル・コース

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %		
第47期	(期首)2019年 2月18日	6,138	—	—	98.9
	2月末	6,150	0.2	—	98.3
	(期末)2019年 3月18日	6,108	△ 0.5	—	99.2
第48期	(期首)2019年 3月18日	6,078	—	—	99.2
	3月末	5,804	△ 4.5	—	99.1
	(期末)2019年 4月18日	5,986	△ 1.5	—	98.8
第49期	(期首)2019年 4月18日	5,956	—	—	98.8
	4月末	5,891	△ 1.1	—	98.9
	(期末)2019年 5月20日	5,609	△ 5.8	—	98.6
第50期	(期首)2019年 5月20日	5,579	—	—	98.6
	5月末	5,720	2.5	—	98.8
	(期末)2019年 6月18日	5,827	4.4	—	99.4
第51期	(期首)2019年 6月18日	5,797	—	—	99.4
	6月末	5,846	0.8	—	98.2
	(期末)2019年 7月18日	6,036	4.1	—	97.9
第52期	(期首)2019年 7月18日	6,006	—	—	97.9
	7月末	6,008	0.0	—	98.3
	(期末)2019年 8月19日	5,547	△ 7.6	—	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 2. 19 ~ 2019. 8. 19)

海外金融市況

海外金融市場では、株式市場および債券市場ともにおおむね堅調に推移しました。

株式市場では、当作成期首より、FOMC（米国連邦公開市場委員会）における利上げ休止などを好感し、上昇基調で推移しました。しかし2019年5月以降は、米中貿易摩擦への懸念が高まったことなどから下落しました。その後、各国の中央銀行が金融緩和に前向きな姿勢を示したことなどから再び上昇しましたが、8月に入ると、トランプ米国大統領が中国製品に対する追加関税を公表したことなどから市場のリスク回避姿勢が強まり、下落しました。当作成期末にかけては、米中通商協議に関する両国の動向に一喜一憂するなどして、値動きの荒い展開となりました。

債券市場では、当作成期首より、FOMCにおける利上げ休止などを受けて、金利は低下基調で推移しました。2019年5月以降は、米中貿易摩擦への懸念が高まったことや各国の中央銀行が金融緩和に前向きな姿勢を示したことなどから、金利の低下が続きました。

非伝統的高利回り資産（※）では、優先証券が相対的に良好なパフォーマンスでした。

※リート、優先証券、不動産担保証券など。

為替相場

ブラジル・リアルは対円で下落しました。

ブラジル・リアル対円為替相場は、当作成期首より、年金改革をめぐる騒動が嫌気されたことや米中貿易摩擦への懸念の高まりなどを受け、2019年5月半ばにかけて下落しました。その後、年金改革法案成立への期待などからいったん上昇しましたが、8月に入ると、トランプ米国大統領が中国製品に対する追加関税を公表したことなどから市場のリスク回避姿勢が強まり、当作成期末にかけて下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

当ファンドでは、優先証券やハイ・イールド債券などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。引き続きリスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインを求めた運用を行います。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

また、原資産通貨売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 2. 19 ~ 2019. 8. 19)

■当ファンド

当ファンドは、インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

世界各国のさまざまな資産に投資を行い、機動的に各資産の配分比率を調整することで、安定した利回りと信託財産の着実な成長をめざしてポートフォリオを構築しました。

株式については、米国株式市場が底堅く推移する中、引き続き米国株式を選好しました。一方、ユーロ圏経済の減速懸念などから、ドイツの株式組入比率を引き下げました。

債券については、クレジット商品の幅広い資産クラスおよびセクターに分散投資を意識した運用を行いました。投資適格債および国債を買い増した一方、2019年5月に株式市場が下落したことなどから、ハイ・イールド債券のポジションを縮小しました。

利回りの獲得や分散投資の観点から魅力的な資産と考えている非伝統的高利回り資産では、不動産担保証券や優先証券などに投資しました。

また、原資産通貨売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行いました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	2019年2月19日 ～2019年3月18日	2019年3月19日 ～2019年4月18日	2019年4月19日 ～2019年5月20日	2019年5月21日 ～2019年6月18日	2019年6月19日 ～2019年7月18日	2019年7月19日 ～2019年8月19日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率 (%)	0.49	0.50	0.53	0.51	0.50	0.54
当期の収益 (円)	30	29	30	30	30	26
当期の収益以外 (円)	—	0	—	—	—	3
翌期繰越分配対象額 (円)	54	53	53	59	63	61

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 31.52円	✓ 29.07円	✓ 30.01円	✓ 35.50円	✓ 34.25円	✓ 26.78円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	48.89	48.90	49.07	49.07	49.10	50.67
(d) 分配準備積立金	4.43	✓ 5.95	4.86	4.86	10.35	✓ 14.07
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	84.85	83.92	83.94	89.45	93.70	91.53
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	54.85	53.92	53.94	59.45	63.70	61.53

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

当ファンドでは、優先証券やハイ・イールド債券などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。リスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインを求めた運用を行います。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

また、原資産通貨売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第47期～第52期 (2019. 2. 19～2019. 8. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	36円	0.602%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,899円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0.187)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(24)	(0.402)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	36	0.606	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

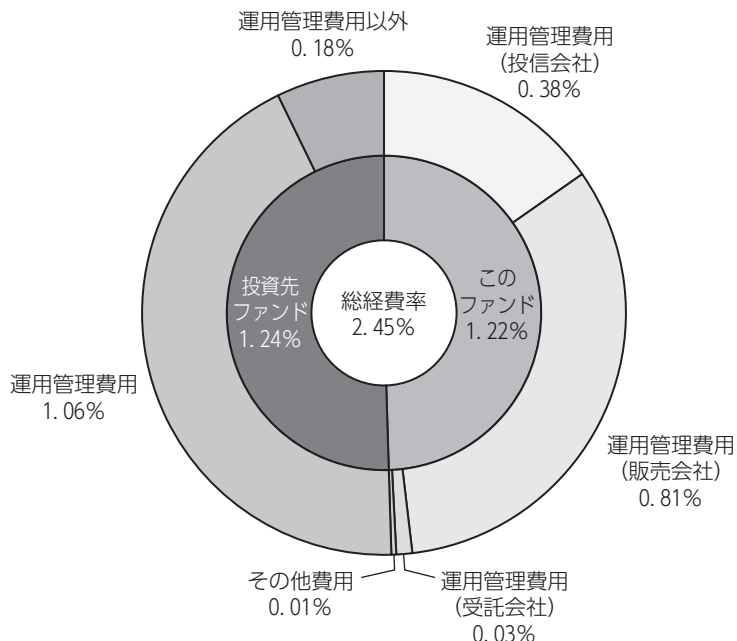
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.45%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.45%
①このファンドの費用の比率	1.22%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.06%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.18%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年2月19日から2019年8月19日まで)

決算期	第 47 期 ~ 第 52 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	1,427.98992	83,952	2,490.55733	150,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年2月19日から2019年8月19日まで)

第 47 期 ~ 第 52 期				第 47 期 ~ 第 52 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	1,022.63499	60,000	58	MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	2,490.55733	150,000	60

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2019年2月19日から2019年8月19日まで)

区 分	第 47 期 ~ 第 52 期			第 47 期 ~ 第 52 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	40	40	100.0	—	—	—
コール・ローン	856,850	—	—	—	—	—

平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 52 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND BRL CLASS	10,431.4265	580,508	98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年8月19日現在

項 目	第 52 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	580,508	98.0
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	993	0.2
コール・ローン等、その他	11,128	1.8
投資信託財産総額	592,630	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第46期末	第 52 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	994	994	993

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年3月18日)、(2019年4月18日)、(2019年5月20日)、(2019年6月18日)、(2019年7月18日)、(2019年8月19日)現在

項 目	第47期末	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末
(A) 資産	710,373,982円	663,237,803円	635,944,921円	637,911,881円	634,305,845円	592,630,700円
コール・ローン等	8,561,553	10,858,672	12,195,800	15,656,817	5,866,387	11,128,106
投資信託受益証券（評価額）	700,818,321	651,385,123	622,755,212	621,261,255	607,445,649	580,508,884
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド（評価額）	994,108	994,008	993,909	993,809	993,809	993,710
未収入金	—	—	—	—	20,000,000	—
(B) 負債	4,148,852	4,039,935	4,111,831	12,779,153	13,750,729	3,868,654
未払金	—	—	—	—	10,000,000	—
未払収益分配金	3,485,810	3,320,072	3,397,367	3,235,241	3,099,574	3,201,435
未払解約金	—	—	—	8,908,213	—	—
未払信託報酬	658,664	710,668	700,557	617,844	628,834	640,932
その他未払費用	4,378	9,195	13,907	17,855	22,321	26,287
(C) 純資産総額（A－B）	706,225,130	659,197,868	631,833,090	625,132,728	620,555,116	588,762,046
元本	1,161,936,824	1,106,690,691	1,132,455,987	1,078,413,859	1,033,191,396	1,067,145,092
次期繰越損益金	△ 455,711,694	△ 447,492,823	△ 500,622,897	△ 453,281,131	△ 412,636,280	△ 478,383,046
(D) 受益権総口数	1,161,936,824□	1,106,690,691□	1,132,455,987□	1,078,413,859□	1,033,191,396□	1,067,145,092□
1万口当り基準価額（C/D）	6,078円	5,956円	5,579円	5,797円	6,006円	5,517円

*第46期末における元本額は1,174,805,965円、当作成期間（第47期～第52期）中における追加設定元本額は117,210,956円、同解約元本額は224,871,829円です。

*第52期末の計算口数当りの純資産額は5,517円です。

*第52期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は478,383,046円です。

■損益の状況

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(A) 配当等収益	4,326,325円	3,933,136円	4,104,675円	3,918,446円	3,629,531円	3,504,089円
受取配当金	4,326,981	3,933,682	4,105,036	3,919,026	3,630,043	3,504,764
受取利息	10	—	—	—	1	—
支払利息	△ 666	△ 546	△ 361	△ 580	△ 513	△ 675
(B) 有価証券売買損益	△ 6,576,882	△ 13,345,314	△ 42,576,732	23,390,594	21,732,973	△ 50,448,629
売買益	209,650	183,668	179,504	24,401,769	22,399,107	1
売買損	△ 6,786,532	△ 13,528,982	△ 42,756,236	△ 1,011,175	△ 666,134	△ 50,448,630
(C) 信託報酬等	△ 663,042	△ 715,530	△ 705,681	△ 621,948	△ 633,300	△ 645,187
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 2,913,599	△ 10,127,708	△ 39,177,738	26,687,092	24,729,204	△ 47,589,127
(E) 前期繰越損益金	△ 297,834,247	△ 289,430,675	△ 299,811,043	△ 325,624,010	△ 288,929,396	△ 266,039,708
(F) 追加信託差損益金	△ 151,478,038	△ 144,614,368	△ 158,236,749	△ 151,108,972	△ 145,336,514	△ 161,552,176
(配当等相当額)	(5,681,590)	(5,412,258)	(5,557,371)	(5,292,855)	(5,073,058)	(5,407,651)
(売買損益相当額)	(△ 157,159,628)	(△ 150,026,626)	(△ 163,794,120)	(△ 156,401,827)	(△ 150,409,572)	(△ 166,959,827)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 452,225,884	△ 444,172,751	△ 497,225,530	△ 450,045,890	△ 409,536,706	△ 475,181,611
(H) 収益分配金	△ 3,485,810	△ 3,320,072	△ 3,397,367	△ 3,235,241	△ 3,099,574	△ 3,201,435
次期繰越損益金 (G + H)	△ 455,711,694	△ 447,492,823	△ 500,622,897	△ 453,281,131	△ 412,636,280	△ 478,383,046
追加信託差損益金	△ 151,478,038	△ 144,614,368	△ 158,236,749	△ 151,108,972	△ 145,336,514	△ 161,552,176
(配当等相当額)	(5,681,590)	(5,412,258)	(5,557,371)	(5,292,855)	(5,073,058)	(5,407,651)
(売買損益相当額)	(△ 157,159,628)	(△ 150,026,626)	(△ 163,794,120)	(△ 156,401,827)	(△ 150,409,572)	(△ 166,959,827)
分配準備積立金	692,214	556,009	551,977	1,118,847	1,509,089	1,159,377
繰越損益金	△ 304,925,870	△ 303,434,464	△ 342,938,125	△ 303,291,006	△ 268,808,855	△ 317,990,247

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,663,232円	3,217,547円	3,398,966円	3,829,134円	3,538,850円	2,858,837円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	5,681,590	5,412,258	5,557,371	5,292,855	5,073,058	5,407,651
(d) 分配準備積立金	514,792	658,534	550,378	524,954	1,069,813	1,501,975
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	9,859,614	9,288,339	9,506,715	9,646,943	9,681,721	9,768,463
(f) 分配金	3,485,810	3,320,072	3,397,367	3,235,241	3,099,574	3,201,435
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	6,373,804	5,968,267	6,109,348	6,411,702	6,582,147	6,567,028
(h) 受益権総口数	1,161,936,824□	1,106,690,691□	1,132,455,987□	1,078,413,859□	1,033,191,396□	1,067,145,092□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨セレクト・コース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	額		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
		税込み 分配金	期騰落 中率			
	円	円	%	%	%	百万円
23期末(2017年3月21日)	7,194	80	1.4	0.0	97.4	875
24期末(2017年4月18日)	6,919	80	△ 2.7	0.1	98.4	777
25期末(2017年5月18日)	7,141	80	4.4	0.0	97.8	778
26期末(2017年6月19日)	7,086	80	0.4	0.0	98.5	733
27期末(2017年7月18日)	7,196	80	2.7	—	97.1	785
28期末(2017年8月18日)	6,952	80	△ 2.3	—	97.9	734
29期末(2017年9月19日)	7,147	80	4.0	—	99.0	762
30期末(2017年10月18日)	6,991	80	△ 1.1	—	98.1	753
31期末(2017年11月20日)	6,789	80	△ 1.7	—	99.4	710
32期末(2017年12月18日)	6,846	80	2.0	—	98.2	693
33期末(2018年1月18日)	6,872	60	1.3	—	98.6	669
34期末(2018年2月19日)	6,463	60	△ 5.1	—	98.7	615
35期末(2018年3月19日)	6,305	60	△ 1.5	—	99.2	598
36期末(2018年4月18日)	6,248	60	0.0	—	99.0	574
37期末(2018年5月18日)	6,046	60	△ 2.3	—	98.4	555
38期末(2018年6月18日)	5,870	60	△ 1.9	—	97.7	538
39期末(2018年7月18日)	5,975	40	2.5	—	99.0	545
40期末(2018年8月20日)	5,480	40	△ 7.6	—	98.7	446
41期末(2018年9月18日)	5,532	40	1.7	—	99.0	448
42期末(2018年10月18日)	5,531	40	0.7	—	99.1	440
43期末(2018年11月19日)	5,542	40	0.9	—	98.6	398
44期末(2018年12月18日)	5,429	40	△ 1.3	—	99.3	387
45期末(2019年1月18日)	5,427	40	0.7	—	98.8	379
46期末(2019年2月18日)	5,613	40	4.2	—	99.0	387
47期末(2019年3月18日)	5,722	40	2.7	—	98.8	382
48期末(2019年4月18日)	5,793	40	1.9	—	99.0	385
49期末(2019年5月20日)	5,530	40	△ 3.8	—	96.6	367
50期末(2019年6月18日)	5,550	40	1.1	—	98.4	361
51期末(2019年7月18日)	5,687	40	3.2	—	98.7	359
52期末(2019年8月19日)	5,440	40	△ 3.6	—	99.3	336

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

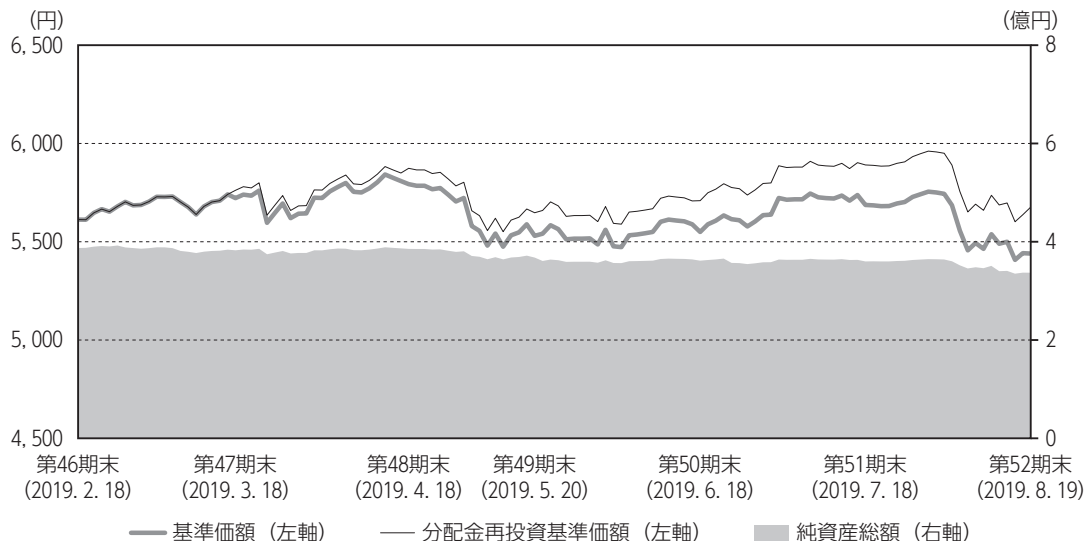
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第47期首：5,613円

第52期末：5,440円（既払分配金240円）

騰落率：1.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）で保有している株式や不動産担保証券の上昇などがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。しかし、選定通貨が対円で下落（円高）したことなどが基準価額の上昇を抑制しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型） 通貨セレクト・コース

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %		
第47期	(期首)2019年 2月18日	5,613	—	—	99.0
	2月末	5,687	1.3	—	98.7
	(期末)2019年 3月18日	5,762	2.7	—	98.8
第48期	(期首)2019年 3月18日	5,722	—	—	98.8
	3月末	5,643	△ 1.4	—	98.8
	(期末)2019年 4月18日	5,833	1.9	—	99.0
第49期	(期首)2019年 4月18日	5,793	—	—	99.0
	4月末	5,705	△ 1.5	—	99.1
	(期末)2019年 5月20日	5,570	△ 3.8	—	96.6
第50期	(期首)2019年 5月20日	5,530	—	—	96.6
	5月末	5,561	0.6	—	98.7
	(期末)2019年 6月18日	5,590	1.1	—	98.4
第51期	(期首)2019年 6月18日	5,550	—	—	98.4
	6月末	5,635	1.5	—	98.6
	(期末)2019年 7月18日	5,727	3.2	—	98.7
第52期	(期首)2019年 7月18日	5,687	—	—	98.7
	7月末	5,751	1.1	—	98.7
	(期末)2019年 8月19日	5,480	△ 3.6	—	99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 2. 19 ~ 2019. 8. 19）

海外金融市況

海外金融市場では、株式市場および債券市場ともにおおむね堅調に推移しました。

株式市場では、当作成期首より、FOMC（米国連邦公開市場委員会）における利上げ休止などを好感し、上昇基調で推移しました。しかし2019年5月以降は、米中貿易摩擦への懸念が高まったことなどから下落しました。その後、各国の中央銀行が金融緩和に前向きな姿勢を示したことなどから再び上昇しましたが、8月に入ると、トランプ米国大統領が中国製品に対する追加関税を発表したことなどから市場のリスク回避姿勢が強まり、下落しました。当作成期末にかけては、米中通商協議に関する両国の動向に一喜一憂するなどして、値動きの荒い展開となりました。

債券市場では、当作成期首より、FOMCにおける利上げ休止などを受けて、金利は低下基調で推移しました。2019年5月以降は、米中貿易摩擦への懸念が高まったことや各国の中央銀行が金融緩和に前向きな姿勢を示したことなどから、金利の低下が続きました。

非伝統的高利回り資産（※）では、優先証券が相対的に良好なパフォーマンスでした。

※リート、優先証券、不動産担保証券など。

為替相場

選定通貨（※）は対円で下落しました。

当作成期首から2019年4月末にかけては、米国の金融引き締め姿勢の後退から市場のリスク選好度が強まったことで、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。しかし5月以降は、米中貿易摩擦への懸念が高まったことなどから、選定通貨は対円でおおむね下落しました。

当作成期においては、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、メキシコ・ペソ、ロシア・ルーブル、トルコ・リラ、フィリピン・ペソは対円で下落しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）

当ファンドでは、優先証券やハイ・イールド債券などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。引き続きリスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインを求めた運用を行います。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

また、原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 2. 19 ~ 2019. 8. 19)

■当ファンド

当ファンドは、インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）

世界各国のさまざまな資産に投資を行い、機動的に各資産の配分比率を調整することで、安定した利回りと信託財産の着実な成長をめざしてポートフォリオを構築しました。

株式については、米国株式市場が底堅く推移する中、引き続き米国株式を選好しました。一方、ユーロ圏経済の減速懸念などから、ドイツの株式組入比率を引き下げました。

債券については、クレジット商品の幅広い資産クラスおよびセクターに分散投資を意識した運用を行いました。投資適格債および国債を買い増した一方、2019年5月に株式市場が下落したことなどから、ハイ・イールド債券のポジションを縮小しました。

利回りの獲得や分散投資の観点から魅力的な資産と考えている非伝統的高利回り資産では、不動

産担保証券や優先証券などに投資しました。

また、原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を行いました。取引対象通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益（利息収入）が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行いました。取引対象通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	2019年2月19日 ～2019年3月18日	2019年3月19日 ～2019年4月18日	2019年4月19日 ～2019年5月20日	2019年5月21日 ～2019年6月18日	2019年6月19日 ～2019年7月18日	2019年7月19日 ～2019年8月19日
当期分配金(税込み) (円)	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	0.69	0.69	0.72	0.72	0.70	0.73
当期の収益 (円)	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	200	216	235	254	271	282

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 56.90円	✓ 56.18円	✓ 59.47円	✓ 58.23円	✓ 57.74円	✓ 50.69円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	74.15	74.28	74.42	74.59	74.81	75.02
(d) 分配準備積立金	109.20	125.98	142.02	161.32	179.34	196.87
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	240.26	256.44	275.92	294.15	311.89	322.59
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	200.26	216.44	235.92	254.15	271.89	282.59

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）

当ファンドでは、優先証券やハイ・イールド債券などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。リスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインを求めた運用を行います。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

また、原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第47期～第52期 (2019. 2. 19～2019. 8. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	34円	0.603%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,647円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0.188)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(23)	(0.402)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	34	0.606	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

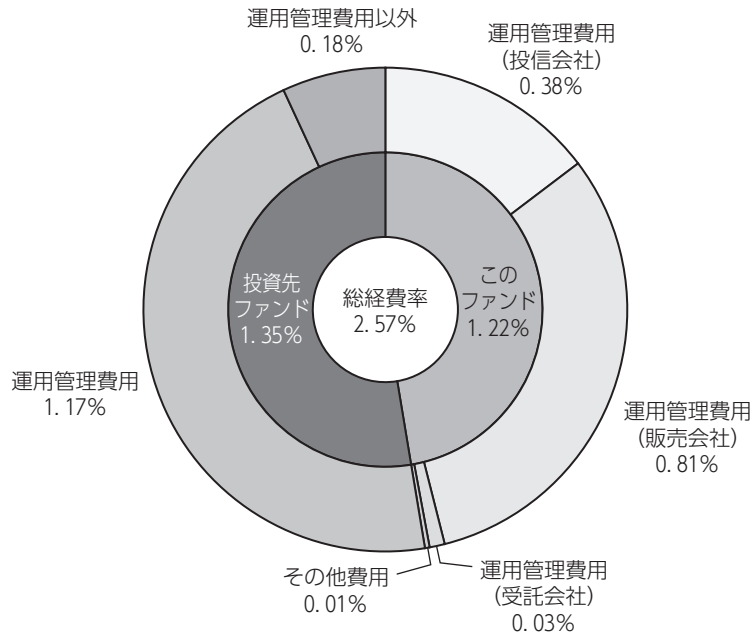
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.57%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.57%
①このファンドの費用の比率	1.22%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.17%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.18%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2019年2月19日から2019年8月19日まで)

決算期	第 47 期 ~ 第 52 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	435.67019	23,826	1,019.5687	56,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2019年2月19日から2019年8月19日まで)

第 47 期 ~ 第 52 期							
買 付				売 付			
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	1,019.5687	56,000	54

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2019年2月19日から2019年8月19日まで)

区 分	第 47 期			第 52 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	40	40	100.0	—	—	—
コール・ローン	856,850	—	—	—	—	—

平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 52 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND CURRENCY SELECTION CLASS	6,334.64238	334,614	99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年8月19日現在

項 目	第 52 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	334,614	98.5
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	397	0.1
コール・ローン等、その他	4,811	1.4
投資信託財産総額	339,824	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第46期末	第 52 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	397	397	397

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年3月18日)、(2019年4月18日)、(2019年5月20日)、(2019年6月18日)、(2019年7月18日)、(2019年8月19日)現在

項 目	第47期末	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末
(A) 資産	385,613,102円	388,499,830円	378,819,286円	368,469,227円	364,392,937円	339,824,008円
コール・ローン等	7,303,818	6,373,510	7,115,899	4,513,943	8,713,090	4,811,691
投資信託受益証券 (評価額)	377,911,622	381,728,698	355,305,806	355,557,742	355,282,304	334,614,814
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド (評価額)	397,662	397,622	397,582	397,543	397,543	397,503
未収入金	—	—	15,999,999	7,999,999	—	—
(B) 負債	3,036,427	3,060,625	11,067,690	6,963,558	4,479,667	2,868,670
未払金	—	—	8,000,000	4,000,000	—	—
未払収益分配金	2,674,633	2,661,430	2,660,026	2,605,476	2,531,492	2,477,728
未払解約金	—	—	—	—	1,575,160	—
未払信託報酬	359,412	394,177	399,956	348,136	360,603	376,119
その他未払費用	2,382	5,018	7,708	9,946	12,412	14,823
(C) 純資産総額 (A - B)	382,576,675	385,439,205	367,751,596	361,505,669	359,913,270	336,955,338
元本	668,658,401	665,357,560	665,006,537	651,369,153	632,873,176	619,432,130
次期繰越損益金	△ 286,081,726	△ 279,918,355	△ 297,254,941	△ 289,863,484	△ 272,959,906	△ 282,476,792
(D) 受益権総口数	668,658,401口	665,357,560口	665,006,537口	651,369,153口	632,873,176口	619,432,130口
1万口当り基準価額 (C/D)	5,722円	5,793円	5,530円	5,550円	5,687円	5,440円

*第46期末における元本額は690,000,834円、当作成期間（第47期～第52期）中における追加設定元本額は4,142,894円、同解約元本額は74,711,598円です。

*第52期末の計算口数当りの純資産額は5,440円です。

*第52期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は282,476,792円です。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型） 通貨セレクト・コース

■損益の状況

項目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(A) 配当等収益	3,943,152円	3,938,602円	4,357,621円	4,134,106円	3,772,714円	3,518,599円
受取配当金	3,943,417	3,938,848	4,357,710	4,134,439	3,773,012	3,518,940
受取利息	1	—	—	—	1	—
支払利息	△ 266	△ 246	△ 89	△ 333	△ 299	△ 341
(B) 有価証券売買損益	6,379,527	3,870,696	△ 18,778,631	117,575	7,793,679	△ 15,975,949
売買益	6,520,598	3,870,937	1,899	117,498	7,933,347	277,190
売買損	△ 141,071	△ 241	△ 18,780,530	77	△ 139,668	△ 16,253,139
(C) 信託報酬等	△ 361,794	△ 396,855	△ 402,804	△ 350,440	△ 363,069	△ 378,608
(D) 当期損益金 (A + B + C)	9,960,885	7,412,443	△ 14,823,814	3,901,241	11,203,324	△ 12,835,958
(E) 前期繰越損益金	△ 242,716,404	△ 234,036,472	△ 228,938,266	△ 241,112,743	△ 232,719,196	△ 219,059,281
(F) 追加信託差損益金	△ 50,651,574	△ 50,632,896	△ 50,832,835	△ 50,046,506	△ 48,912,542	△ 48,103,825
(配当等相当額)	(4,958,466)	(4,942,287)	(4,949,131)	(4,858,797)	(4,734,970)	(4,647,222)
(売買損益相当額)	(△ 55,610,040)	(△ 55,575,183)	(△ 55,781,966)	(△ 54,905,303)	(△ 53,647,512)	(△ 52,751,047)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 283,407,093	△ 277,256,925	△ 294,594,915	△ 287,258,008	△ 270,428,414	△ 279,999,064
(H) 収益分配金	△ 2,674,633	△ 2,661,430	△ 2,660,026	△ 2,605,476	△ 2,531,492	△ 2,477,728
次期繰越損益金 (G + H)	△ 286,081,726	△ 279,918,355	△ 297,254,941	△ 289,863,484	△ 272,959,906	△ 282,476,792
追加信託差損益金	△ 50,651,574	△ 50,632,896	△ 50,832,835	△ 50,046,506	△ 48,912,542	△ 48,103,825
(配当等相当額)	(4,958,466)	(4,942,287)	(4,949,131)	(4,858,797)	(4,734,970)	(4,647,222)
(売買損益相当額)	(△ 55,610,040)	(△ 55,575,183)	(△ 55,781,966)	(△ 54,905,303)	(△ 53,647,512)	(△ 52,751,047)
分配準備積立金	8,432,187	9,459,287	10,739,745	11,696,219	12,472,819	12,857,369
繰越損益金	△ 243,862,339	△ 238,744,746	△ 257,161,851	△ 251,513,197	△ 236,520,183	△ 247,230,336

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいひ、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,804,930円	3,738,446円	3,954,808円	3,793,347円	3,654,261円	3,139,967円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	4,958,466	4,942,287	4,949,131	4,858,797	4,734,970	4,647,222
(d) 分配準備積立金	7,301,890	8,382,271	9,444,963	10,508,348	11,350,050	12,195,130
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	16,065,286	17,063,004	18,348,902	19,160,492	19,739,281	19,982,319
(f) 分配金	2,674,633	2,661,430	2,660,026	2,605,476	2,531,492	2,477,728
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	13,390,653	14,401,574	15,688,876	16,555,016	17,207,789	17,504,591
(h) 受益権総口数	668,658,401□	665,357,560□	665,006,537□	651,369,153□	632,873,176□	619,432,130□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	40円	40円	40円	40円	40円	40円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）

ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド
 （ヘッジなし・クラス／円ヘッジ・クラス／
 ブラジル・リアル・クラス／通貨セレクト・クラス）

当ファンド（通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）為替ヘッジなしコース／日本円コース／ブラジル・リアル・コース／通貨セレクト・コース）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス／円ヘッジ・クラス／ブラジル・リアル・クラス／通貨セレクト・クラス）」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2019年8月19日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表
 2018年7月31日

資産		
投資資産の評価額（簿価 \$11,822,711）	\$	12,435,826
利害関係人への投資（簿価 \$21,213,661）		20,943,081
現金		712
外国為替先渡契約による評価益		202,277
先物取引に係る未収変動証拠金		81,834
未収：		
利息		23,062
利害関係人からの配当		722
資産合計		<u>33,687,514</u>
負債		
預り金		270,000
外国為替先渡契約による評価損		90,990
未払：		
運用会社報酬		362,824
専門家報酬		67,898
購入済み利害関係人への投資		20,912
保管会社報酬		7,439
受託会社報酬		6,293
会計および管理会社報酬		6,045
名義書換代理人報酬		1,723
為替取引執行会社報酬		1,143
為替運用会社報酬		1,009
登録料		665
購入済みの投資		52
負債合計		<u>836,993</u>
純資産	\$	<u>32,850,521</u>
純資産		
ブラジル・リアル・クラス	\$	8,683,196
通貨セレクト・クラス		4,812,421
円ヘッジ・クラス		6,746,833
ヘッジなし・クラス		12,608,071
	\$	<u>32,850,521</u>

発行済み受益証券口数	
ブラジル・レアル・クラス	15,341,856
通貨セレクト・クラス	9,033,522
円ヘッジ・クラス	8,365,572
ヘッジなし・クラス	16,293,299

受益証券1口当り純資産額	
ブラジル・レアル・クラス	\$ 0.566
通貨セレクト・クラス	\$ 0.533
円ヘッジ・クラス	\$ 0.806
ヘッジなし・クラス	\$ 0.774

損益計算書

2018年7月31日に終了した年度

投資収益	
受取利息	\$ 485,339
配当収益（源泉徴収税 \$15,126控除後）	344,959
利害関係人への投資からの受取配当金（源泉徴収税 \$335,729控除後）	847,663
その他収益	12,554
投資収益合計	<u>1,690,515</u>

費用	
運用会社報酬	275,936
専門家報酬	68,158
保管会社報酬	57,135
会計および管理会社報酬	43,381
受託会社報酬	26,615
為替運用会社報酬	14,567
名義書換代理人報酬	10,214
為替取引執行会社報酬	7,564
登録料	2,745
支払利息	1,386
費用合計	<u>507,701</u>

投資純利益	<u>1,182,814</u>
--------------	------------------

実現益（損）および評価益（損）：

実現益（損）：	
証券投資	348,985
利害関係人への投資	386,580
先物取引	(10,157)
外国為替取引および外国為替先渡契約	(1,125,819)
純実現損	<u>(400,411)</u>

評価益（損）の純変動：	
証券投資	157,759
利害関係人への投資	(1,261,134)
先物取引	155,123
外国為替換算および外国為替先渡契約	(1,132,718)
評価益（損）の純変動	<u>(2,080,970)</u>

純実現損および評価益（損）の純変動	<u>(2,481,381)</u>
--------------------------	--------------------

運用による純資産の純減	<u>\$ (1,298,567)</u>
--------------------	-----------------------

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）

投資明細表
2018年7月31日現在

元本		有価証券の明細	純資産に 占める割合	評価額
		債券 (31.6%)		
		オランダ (0.8%)		
		電力 (0.4%)		
		Gas Natural Fenosa Finance BV ^{(a), (b), (c)}		
EUR	100,000	4.13% due 2049/11/29	\$	123,733
		メディア (0.4%)		
		Ziggo Bond BV ^(a)		
EUR	100,000	7.13% due 2024/5/15		125,195
		オランダ合計 (簿価 \$236,227)		<u>248,928</u>
		米国 (30.8%)		
		商業用不動産担保証券 (9.4%)		
		COMM 2015-CCRE23 Mortgage Trust Class CME ^{(b), (d)}		
USD	1,000,000	3.68% due 2048/5/10		986,081
		Core Industrial Trust 2015-CALW Class G ^{(b), (d)}		
USD	140,000	3.85% due 2034/2/10		132,586
		Core Industrial Trust 2015-TEXW Class E ^{(b), (d)}		
USD	1,000,000	3.85% due 2034/2/10		986,519
		GAHR Commercial Mortgage Trust 2015-NRF Class EFX ^{(b), (d)}		
USD	1,000,000	3.38% due 2034/12/15		989,128
		商業サービス (0.0%)		
		ADT Corp.		
USD	10,000	3.50% due 2022/7/15		9,500
		住宅資産 ABS (8.4%)		
		Bear Stearns Asset Backed Securities I Trust 2007-HE1 Class 21A2 ^{(a), (b)}		
USD	966,247	2.22% due 2037/1/25		946,012
		Bear Stearns Asset Backed Securities I Trust 2007-HE2 Class 22A ^{(a), (b)}		
USD	932,111	2.20% due 2037/3/25		898,798
		Bear Stearns Asset Backed Securities I Trust 2007-HE3 Class 2A ^{(a), (b)}		
USD	850,238	2.20% due 2037/4/25		898,788
		組立住宅 ABS (3.3%)		
		Conseco Finance Securitizations Corp. Class M1 ^{(a), (b)}		
USD	1,100,000	3.84% due 2033/9/1		1,080,942
		その他 ABS (1.8%)		
		Bear Stearns Asset Backed Securities I Trust 2007-FS1 Class 1A3 ^{(a), (b)}		
USD	584,723	2.23% due 2035/5/25		604,485
		パイプライン (0.0%)		

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）

	元本	有価証券の明細	純資産に 占める割合	評価額
U S D	14,000	Andeavor Logistics LP / Tesoro Logistics Finance Corp. ^(a) 6.25% due 2022/10/15		14,473
		モーゲージ債権担保ホールローン (7.9%)		
U S D	328,915	Alternative Loan Trust 2005-IM1 Class A1 ^{(a), (b)} 2.66% due 2036/1/25		313,217
U S D	769,820	Alternative Loan Trust 2006-OA3 Class 2A1 ^{(a), (b)} 2.27% due 2036/5/25		660,565
U S D	980,556	Alternative Loan Trust 2007-AL1 Class A1 ^{(a), (b)} 2.31% due 2037/6/25		745,703
U S D	294,886	MASTR Resecuritization Trust 2008-3 Class A1 ^{(b), (d)} 2.53% due 2037/8/25		222,026
U S D	687,268	Structured Asset Mortgage Investments II Trust 2005-AR3 Class 1A1 ^{(a), (b)} 2.60% due 2035/8/25		657,713
		米国合計 (簿価 \$9,436,502)		10,146,536
		債券合計 (簿価 \$9,672,729)		10,395,464
		証券数 上場投資信託 (ETF) (60.7%)		
		米国 (60.7%)		
	60,095	Alerian MLP ETF		657,439
	9,763	iShares 10+ Year Credit Bond ETF ^(e)		575,138
	24,326	iShares Core High Dividend ETF ^(e)		2,148,716
	34,293	iShares Currency Hedged MSCI Eurozone ETF ^(e)		1,043,879
	44,379	iShares iBoxx \$ High Yield Corporate Bond ETF ^(e)		3,821,919
	25,225	iShares iBoxx \$ Investment Grade Corporate Bond ETF ^(e)		2,920,046
	17,114	iShares International Developed Real Estate ETF ^(e)		505,890
	53,111	iShares International Select Dividend ETF ^(e)		1,770,190
	6,674	iShares U. S. Real Estate ETF ^(e)		542,262
	158,012	iShares U. S. Preferred Stock ETF ^(e)		5,939,671
		米国合計		19,925,150
		上場投資信託 (ETF) 合計 (簿価 \$20,315,254)		19,925,150
		投資信託 (5.1%)		
		ルクセンブルク (5.1%)		
	24,912	BlackRock Global Fund - Emerging Markets Equity Income Fund Class X6 ^(e)		285,745
	136,640	BlackRock Global Funds - Asian Tiger Bond Fund Class X3 ^(e)		1,389,625
		ルクセンブルク合計		1,675,370
		投資信託合計 (簿価 \$1,665,466)		1,675,370
	元本	短期投資 (4.2%)		
		グランド・ケイマン (0.0%)		
		定期預金 (0.0%)		

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）

	元本	有価証券の明細	純資産に 占める割合	評価額
		Brown Brothers Harriman & Co.		
E U R	424	-0.57% due 2018/8/1		496
J P Y	108,951	-0.21% due 2018/8/1		973
N O K	1	0.20% due 2018/8/1		0
G B P	7	0.25% due 2018/8/1		9
A U D	2,150	0.78% due 2018/8/1		1,598
U S D	1,135	1.17% due 2018/8/1		1,135
		定期預金合計		4,211
		グランド・ケイマン合計（簿価 \$4,211）		4,211
		シンガポール（0.3%）		
		定期預金（0.3%）		
		DBS Bank Ltd.		
U S D	101,930	1.17% due 2018/8/1		101,930
		定期預金合計		101,930
		シンガポール合計（簿価 \$101,930）		101,930
		米国（3.9%）		
		定期預金（3.9%）		
		JP Morgan Chase & Co.		
U S D	1,276,782	1.17% due 2018/8/1		1,276,782
		定期預金合計		1,276,782
		米国合計（簿価 \$1,276,782）		1,276,782
		短期投資合計（簿価 \$1,382,923）		1,382,923
		投資総額（簿価 \$33,036,372）	101.6%	\$ 33,378,907
		現金および他の資産を超過する負債	(1.6)	(528,386)
		純資産	100.0%	\$ 32,850,521

投資明細表に記載の有価証券はすべて、その証券の所在地よりもカントリーリスクがどこにあるかについて経営陣が最善の評価を行い分類しています。

- (a) コーラブル債
- (b) 2018年7月31日現在の変動利付証券
- (c) 永久債
- (d) 144A証券 - 1933年証券法の規則144Aのもと登録が免除されている証券。同証券は、登録が免除されている取引によって転売できません。取引の買い手は通常は適格機関投資家。別段の記載がない限り、同証券は非流動資産とみなされません。
- (e) 運用会社の利害関係人

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）

2018年7月31日現在、以下の先物取引について現金 \$80,462をブローカーが保有しています。

2018年7月31日現在の先物建玉（純資産の0.0%）

ポジション	銘柄	限月	契約枚数	純評価益 / (損)	
Short	Euro FX Currency Futures	2018年9月	(5)	\$	6,965
Short	Japan Yen Currency Futures	2018年9月	(1)		1,588
Long	S&P 500 E-Mini Futures	2018年9月	7		15,434
Short	U. S. Long Bond Futures	2018年9月	(2)		(3,250)
Long	U. S. Treasury 2-Year Note Futures	2018年9月	21		(4,068)
Long	U. S. Treasury 5-Year Note Futures	2018年9月	10		1,352
Short	U. S. Ultra Bond Futures	2018年9月	(7)		(16,649)
				\$	1,372

2018年7月31日現在のファンドレベルの外国為替先渡契約残高（純資産の-0.0%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	純評価益 / (損)
E U R	UBS AG	327,000	2018/8/6	U S D	383,081	\$ -	\$ (365)	\$ (365)
U S D	Goldman Sachs Group, Inc.	381,518	2018/8/6	E U R	327,000	-	(1,197)	(1,197)
U S D	UBS AG	383,938	2018/9/6	E U R	327,000	284	-	284
						\$ 284	\$ (1,562)	\$ (1,278)

2018年7月31日現在のブラジル・リアル・クラスの外国為替先渡契約残高（純資産の0.5%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	純評価益 / (損)
B R L	Citibank N. A.	32,325,142	2018/8/10	U S D	8,433,104	\$ 163,988	\$ -	\$ 163,988

2018年7月31日現在の通貨セレクト・クラスの外国為替先渡契約残高（純資産の0.0%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	純評価益 / (損)
C N Y	Citibank N. A.	5,132,803	2018/8/10	U S D	768,396	\$ -	\$ (16,519)	\$ (16,519)
I D R	Citibank N. A.	11,258,936,903	2018/8/10	U S D	781,659	-	(1,539)	(1,539)
I N R	Citibank N. A.	54,664,354	2018/8/10	U S D	791,705	4,572	-	4,572
M X N	Citibank N. A.	14,675,694	2018/8/10	U S D	770,954	14,548	-	14,548
T R Y	Citibank N. A.	4,362,520	2018/8/10	U S D	904,505	-	(18,989)	(18,989)
Z A R	Citibank N. A.	9,711,913	2018/8/10	U S D	721,706	18,885	-	18,885
						\$ 38,005	\$ (37,047)	\$ 958

2018年7月31日現在の円ヘッジ・クラスの外国為替先渡契約残高（純資産の-0.2%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	純評価益 / (損)
J P Y	Citibank N. A.	756,670,208	2018/8/10	U S D	6,815,545	\$ -	\$ (52,381)	\$ (52,381)

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）

通貨の略称：

AUD	-	豪ドル
BRL	-	ブラジル・レアル
CNY	-	人民元
EUR	-	ユーロ
GBP	-	英ポンド
IDR	-	インドネシア・ルピア
INR	-	インド・ルピー
JPY	-	日本円
MXN	-	メキシコ・ペソ
NOK	-	ノルウェー・クローネ
TRY	-	トルコ・リラ
USD	-	米ドル
ZAR	-	南アフリカ・ランド

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第52期の決算日（2019年8月19日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を60ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2019年2月19日から2019年8月19日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
801 国庫短期証券 2019/3/18	千円 40,000		千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2019年8月19日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第7期（決算日 2018年12月10日）

（作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日）

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

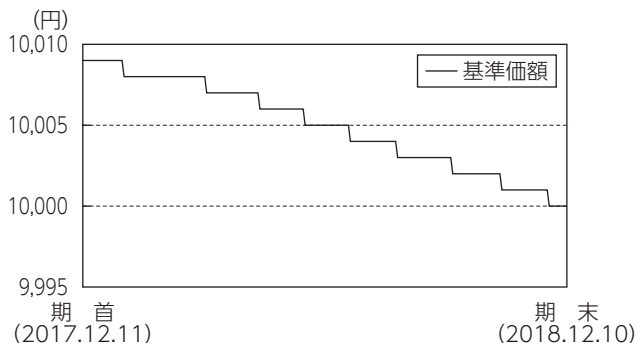
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2017年12月11日	円	%	%
12月11日	10,009	-	-
12月31日	10,009	0.0	-
2018年1月31日	10,008	△0.0	-
2月28日	10,008	△0.0	0.5
3月31日	10,007	△0.0	-
4月30日	10,006	△0.0	-
5月31日	10,005	△0.0	-
6月30日	10,005	△0.0	-
7月31日	10,004	△0.0	-
8月31日	10,003	△0.1	-
9月30日	10,002	△0.1	-
10月31日	10,001	△0.1	-
11月30日	10,000	△0.1	-
(期末)2018年12月10日	10,000	△0.1	-

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
- (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,009円 期末：10,000円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	4 (4)
合 計	4

- (注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
- (注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 180,001	千円 (180,000)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
- (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
- (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当 期		買 付		売 付	
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
723	国庫短期証券 2018/3/5	千円 90,000			千円
757	国庫短期証券 2018/8/13	50,000			
731	国庫短期証券 2018/7/10	40,000			

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
- (注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	9,019,491	100.0
投資信託財産総額	9,019,491	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	9,019,491,424円
コール・ローン等	9,019,491,424
(B) 負債	745,957
その他未払費用	745,957
(C) 純資産総額(A - B)	9,018,745,467
元本	9,018,625,641
次期繰越損益金	119,826
(D) 受益権総口数	9,018,625,641口
1万口当り基準価額(C/D)	10,000円

* 期首における元本額は17,399,953,390円、当作成期間中における追加設定元本額は2,846,717,287円、同解約元本額は11,228,045,036円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジあり) 999円、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジなし) 999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム(毎月分配型) 219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム(年2回決算型) 24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(毎月分配型) 848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(年2回決算型) 66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジあり) 6,592,748円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジなし) 10,288,683円、ダイワ/バリュー・パートナーズ・チャイナ・インベーター・ファンド10,000円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(年1回決算型) 4,995円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(年1回決算型) 4,995円、ダイワ・ブラジル・レアル債α(毎月分配型) -スーパー・ハイインカム- α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α(毎月分配型) -スーパー・ハイインカム- α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ14,873,813円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 3 - 858,588,190円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 6 - 2,475,152,803円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 7 - 828,595,357円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 4 - 1,078,808,907円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 5 - 2,095,808,384円、ダイワ円債セレクト マネーコース1,605,380,447円、ダイワ・スイス高配当株ツインα(毎月分配型) 2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース1,490,665円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 日本円コース497,633円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース994,307円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 通貨セレクト・コース397,742円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型) 為替ヘッジあり40,885円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型) 為替ヘッジなし100,789円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(毎月分配型) 1,235円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(毎月分配型) 1,598円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 日本円コース(毎月分配型) 1,544円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファ

ンド 通貨セレクトコース(毎月分配型) 1,984円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,000円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 5,977,479円
受取利息	2,652
支払利息	△ 5,980,131
(B) その他費用	△ 4,966,849
(C) 当期損益金(A + B)	△ 10,944,328
(D) 前期繰越損益金	15,761,364
(E) 解約差損益金	△ 5,797,371
(F) 追加信託差損益金	1,100,161
(G) 合計(C + D + E + F)	119,826
次期繰越損益金(G)	119,826

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。